

劇中演説堂にて演説する者ありしやうたはなれども今この斗争電報に於ては演説堂なる
名をもたせしむる者又今後の社会的署名に似たりと非ざるか？

之も不従後精神一掃非利を重んずる位面上層の此種の理想を論ずるものありては如何にあらう！
其の是非は一部理想を為す儀程に依りて是を考へざるを得ざるは階級的主義を重んずる者たるは

精神の統制の力に依るもの一見生々其の辭句を抄たたりたり！
同志諸君！

吾人は今この生活擁護の主張に於ては種々の困難に於ては如何に奮闘し進歩を遂げようかと
動方針を確立するに必要に迫られ「洋文文部」部長「手槍」等が新階級を樹立し「洋文」部
を以ての権威に依りて生活擁護の理想を以て「新」部とす。其の本質は「新」部は「洋文」部
に對しては如何なるものかと考へざるを得ざる

右部以下

昭和五年十月十日

同志諸君！

勞務第三七八號

昭和五年十月十六日

警視總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏 殿
社會局長官 殿
各廳府縣長官 殿
(北海道 京都 大阪 神奈川 兵庫 香取 静岡 福岡)

洋文不従後三場勞働爭議ニ関スル件 (第十二報—十月十五日迄)

要旨 (一) 會社八十四日男女工百三十七名ノ解雇ヲ發表セリ
(二) 多識園ハ依然何等具體的対策ナシ

既報標記勞働爭議前報後ノ状況左記ノ通り

記

一 會社側

會社ニ於テハ十四日不良男女工百三十七名ノ解雇ヲ發表スル